

職員の皆さんへ

いよいよ年の瀬の 12 月を迎えました。

来週から始まる定例市議会の審議や来年度予算編成、さらに平戸市総合戦略の具体化や時期総合計画の策定など、大変慌しく多忙を極めることとなりますが、お互いに健康に注意して頑張ってまいりましょう。

振り返ればあっという間の一年でしたが、本年は全国各地で数多くの自然災害が発生したことが強く思い起こされます。

4 月の熊本地震や北海道・東北地方への台風直撃、さらには 10 月の鳥取地震など甚大な被害に見舞われた方々に心を寄せ早急な復旧復興をお祈りしながら、まさに「災害列島」の比喩に当てはまる自然の猛威に思い知らされた次第です。先月も福島県沖で震度 5 程度の大規模地震が発生し津波による避難警報に 5 年前の惨事が思い起こされました。幸いにも大規模な災害には及びませんでした。身の引き締まる思いでした。

お蔭様で本市では、大規模な災害には見舞われておりませんが、昨冬の著しい寒波による降雪とこれによる交通機能の麻痺および水道管破裂による断水を余儀なくされ立ち往生いたしました。これも自然災害とはいえ、人為的な対応がなされていれば回避できた点もあることを省みれば、現状に甘んじることなく徹底した危機管理や広く市民も含めた情報共有が不可欠であることを思い知らされた次第です。

いずれにしましても「安心安全のまちづくり」は行政の究極の課題であり、このことを追求していくことによって、住民と行政の信頼関係はより深まり、ひいては私たちが目指している「ずっと住みたいまちづくり」への具体的かつ実践的な歩みであると確信しています。

一方で今年は、先に述べた国内各地での自然災害が農林水産物の生産体制にも大きな影響を及ぼし、野菜類の高騰という形で家計に打撃を与えています。そのことが皮肉にも本市の農業関係者には好結果をもたらすことになっていることもお聞きしていますが、東西南北に長い国土を有する日本に住む私たち国民は、こうした相互補完関係によって食料供給もできることを再認識しました。結果的に野菜価格の高騰や安定化しつつある子牛の高値取引などの状況は、これまで厳しかった農家経営を徐々に改善させていますし、今年は 8 月末から始まったアゴ漁も好調で例年の三倍以上の取引もあったという「嬉しい悲鳴」もお聞きしました。第一次産業が活況を呈することは、そのまま地方が元気になることでもあり、これを契機に後継者への就業意欲が高まることを期待します。

今、日本を取り巻く世界情勢は、二つの国のトップリーダーの動向によって大きな関心が寄せられています。

一つは米国のドナルド・トランプ次期大統領です。大統領選立候補直後から過激な発言で注目を浴びていましたが、当初の予想を裏切る形で民主党のヒラリー・クリントン候補を破り勝利しました。彼の数々の発言をお聞きしますと「保護主義」に根ざした政策が見えてきますが、正式な就任や閣僚人事を踏まえながらその全貌が明らかになることでしょう。いずれにしてもわが国政府による対米戦略の舵取りによっては、地方経済にも少なからず影響がもたらされることになると思います。

もう一つは韓国の朴槿恵大統領にまつわる疑惑事件の推移です。多くの国民がデモ活動などを通じて退陣を呼びかけるなど混迷を極めていますが、こうした不安定要素は今後の極東アジア情勢にも不透明さを加速させ、安全保障や経済面でも深刻な影響を及ぼしそうです。

こうした二つの事案に共通するのは「民主主義のあり方」だと思います。前者の場合は、物事を決定するまでのプロセスにおいて、いかに幅広い意見を受け入れ熟議を重ねて結論を導くかという手法が大事であることを思い知らされますし、後者は与えられた権力を私物視してしまうと取り返しのつかない混乱を生じ、将来にわたって重大な影響をもたらす事態を招くこととなります。

いずれにしても、前段の「安心安全のまちづくり」で指摘したように、徹底した危機管理と広く市民も含めた情報共有が肝要であることに変わりありません。このことを今一度、胸に刻みそれぞれの業務に当たっていただきたいと思います。

これまで地域の皆さんと取り組んできたコミュニティ事業も徐々に「まちづくり運営協議会」が設立されているようです。今こそ私たちは「市民目線」を基本とし、それぞれの地域が自立心をもって持続可能なまちづくりを成し遂げるといった目標を共有しながら、これに向かう自信とやる気をもって様々な課題解決に立ち向かわなければなりません。こうした課題に真摯に向き合い、粘り強く努力を重ねることで必ずや目的を完遂することができます。

今月も慌しく過ごすうちに、まもなく年末を迎え寒さが一段と厳しくなりますが、くれぐれも健康管理に留意し、「火の用心」や「交通安全」なども含め、年末年始に向けて万全なコンディションで職務の遂行にあたられますよう職員皆様のご努力に期待します。

平成 28 年 12 月 1 日

平戸市長 黒田 成彦